

2018~19年度
国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2018~2019年度クラブテーマ
会長 小林 博茂

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1480 / 2019. 3. 1

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「手に届く奉仕、目に見える奉仕」

● 本日の例会 2019年 3月 1日

卓話：「歌舞伎よもやま話」

通算 1515回 本年度 第 30回

演劇評論家 犬丸 治 氏

● 第 1514回 例会報告 / 2019年 2月 15日

出席報告：会員 53名 / 出席 27名 欠席 26名

ゲスト：オスマン サンコン(卓話)

北山みつき、堀鉄平、若林清香

ビジター：保坂紀久雄(東京新橋 RC)、

尾関由比子(東京丸の内 RC)

合計 6名(順不同・敬称略)

奉仕プログラム委員会：(藤井(万)委員長)

3/28 赤坂区民センターにて「奉仕のつどい」が開催されます。ご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告：(代理 石井副会長)

3/20 六本木クラブ(18:30~)にて北山みつきさんのディナーショー「ケ・セラ・セラ～魔法のことば」が開催されます。よろしくお願ひ申し上げます。

卓話：日本ギニア友好協会代表 タレント

ギニア大使補佐官 オスマン サンコン氏

3月 ピアノ演奏曲

バダジエフスカ作曲：『乙女の祈り』

モーツアルト作曲：ピアノソナタ K.331
『トルコ行進曲付き』

ピアニスト 泉 崑子 氏



紹介者：長谷川会員

2月 15日 16件 32,000円 累計 314,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

小林博茂/石井謙次/土屋東一/岩上義明/高須康有/西澤民夫/佐藤仁/熊本誠司/河邊幸夫/石井達/藤井万博/長谷川毅/永滋康/鶴飼光美/高山宇佳/大谷啓子

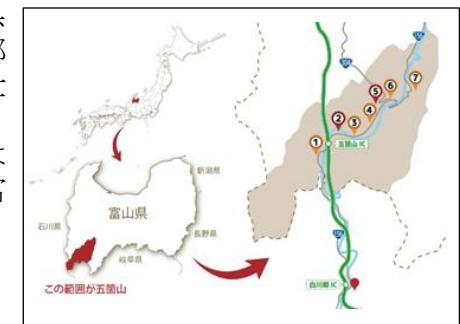
今 後 の 予 定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	3月 5日	18:30	MIXX & BAR (36F) ANA インターコンチネンタルホテル東京	火曜会	テーマ：「感動」
	3月 8日	12:30 13:30	赤坂インターナショナル AIR 会議室 302	移動 例会	卓話：イニシエーションスピーチ 伊藤 久博 氏
	3月 15日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：一般社団法人日本防災教育振興中央会 代表理事 仲西 宏之 氏
	3月 22日	休 会			
	3月 29日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：藤波 かおり 氏
	4月 2日	18:30	MIXX & BAR (36F) ANA インターコンチネンタルホテル東京	火曜会	テーマ：「未定」
	4月 5日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：崎山 みゆき 氏

富山県には、世界文化遺産に登録されている有形の文化財があります。富山県の南西部 南砺市（なんとし）にある五箇山合掌造り集落です。岐阜県の白川郷と共に、その建築の特異性と景観や継がれてきた文化が認められ、1997年に世界遺産に登録されました。

五箇山は40の小さい集落の総称で「世界文化遺産」に登録されているのは相倉（あいのくら）と菅沼（すがぬま）の2集落です。岐阜県の白川郷（荻町）と富山県の五箇山（相倉・菅沼）の3集落で1つの世界文化遺産に登録されています。

<五箇山と白川郷の違い>

最初にも述べましたが、五箇山は富山県南砺市、白川郷は岐阜県大野郡白川村にあります。同じ庄川流域にありますが、五箇山は越中富山の、白川郷は飛騨高山の文化圏に入ります。知名度や規模の大きさは、五箇山は、白川郷より小規模ですが、観光地として整備され、多くの観光客が訪れる白川郷に比べ、五箇山のほうが、より素朴な山村の風景をみることができます。



<合掌造りとは>

合掌造りは、豪雪地帯特有の知恵が詰まった建築様式です。

湿度が高く、重たい雪が降る五箇山・白川郷エリアでは、他の地域に比べ雪を落としやすい急勾配の屋根と、妻入り（玄関が正面にある）の家屋が多いのが特徴。古いものでは400年前に建造された建物もあります。

茅葺屋根の葺き替えには、特殊な技術と、大変な労力、そして莫大な費用がかかります。その葺き替えを、15年から20年に一度行いながら、建物を維持してきた努力が、ユネスコの世界遺産選定につながったのです。

<五箇山の地場産業とは>

加賀藩政時代、五箇山では、一大産業として、黒色火薬の原料となる塩硝（えんしょう）が製造されていました。塩硝製法は、鉄砲伝来（1543年）以来20数年で、すでに五箇山に伝えられていたといわれています。

五箇山には、塩硝の材料であるヨモギ、麻、サク等が採取しやすい環境にあったためと思われます。大きくて頑丈な建物がその製造に適していたためと思われます。屋根裏での養蚕と地下での塩硝（火薬原料）製造は、加賀藩を影で支えました。重厚な合掌造りが維持されてきた背景には、藩からの手厚い庇護があったことも確かです。

<五箇山の郷土料理>

五箇山の郷土料理といえば、「五箇山そば」や「五箇山豆腐」。

中でも「五箇山豆腐」は、縄で縛っても崩れないのが特徴の堅めのお豆腐です。

その堅さは、「寝るときに枕にした」、「つまづいて生爪をはがした」などと比喩されるほど。五箇山を旅するなら、ぜひ味わいたい一品です



<五箇山のライトアップ>

五箇山では、定期的に夜間のライトアップが行われています。これは旅行会社でツアーが組まれるほど、人気のイベント。昼の素朴な景色とはまた違った、幻想的な風景を楽しむことができます。

- ・相倉集落：3・5・7・9・11月
- ・菅沼集落：2月

是非、富山に御越し頂き、『世界文化遺産 五箇山』を御鑑賞ください。
待つとっちゃん！（←とやま弁：待っています！ の意味です。）